

山羊の飼養管理技術

1) 人工哺乳と去勢

《人工哺乳》

人工哺乳は自然哺乳と違い、手間と粉ミルクの費用がかかるが、飲んだミルクの量が把握でき、母山羊と別飼することにより粗飼料及び人工乳の給与が容易であるため、離乳への移行がスムーズである。子山羊を群飼し、牛用代用乳（TDN108%以上）を温湯で溶かして給与（給与時40℃）している。



写真1 保温箱
不要になった水タンクを利用



写真2 人工哺乳
ボールにミルクを入れて集団哺乳

哺乳量と離乳の目安

表1 子山羊の人工哺乳

日 齢	4~10	11~20	21~30	30~40	40~50	50~60
代用乳量 (ml)	1000	1400	1800	1000	700	500
哺乳回数	2	2	2	1	1	1
粗飼料 (g)	少量	200	200	300	400	400
人工乳 (g)	少量	100	200	200	300	400

人工乳400gを3日以上摂取できれば離乳時期とする。



《去勢》

一般に、牛・豚は肉質改善や飼養管理（群飼）を容易にするため、去勢が行われている。山羊の去勢は、雄山羊が食肉用として利用されているため、実施されていない現状にある。去勢することで、山羊の性質が温厚となり、飼いやすくなるため、群管理の場合は推奨できる。

— 観血去勢 —

- ① 生後3ヶ月齢を過ぎてから実施
- ② 手指、器具（カミソリ、縫合糸等）や陰嚢を消毒
- ③ 陰嚢を固定して、陰嚢縫線に沿って側面を精巣実質まで切開する（図1）。
- ④ 精巣を取り出し、精索を確認し、精索を縫合糸で縛ってから切断する。生後3ヶ月程度であれば、豚の去勢と同様に精索をそのまま引き干切る。
- ⑤ 出血していないのを確認して、傷口を消毒する。

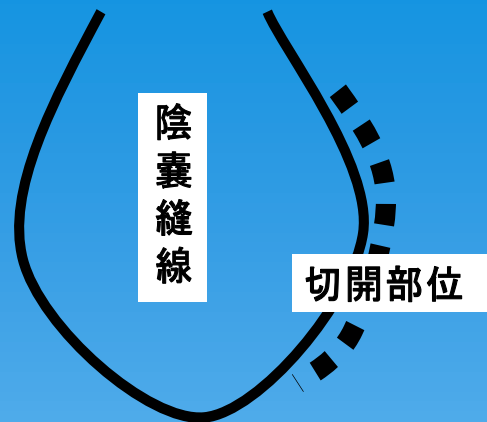


図1 去勢時の切開部位

ーゴムリング去勢ー

- ・リング装着時期は、3～4ヵ月前後が好ましい。
- ・5ヶ月を過ぎるとゴムリングの装着は困難である。
- ・ゴムリングの装着後、陰囊の脱落を待たずに切除する。

表2 観血去勢とゴムリング去勢の比較

n=5

種類	期間中の増体(kg)	DG(g)
観血	2.4±1.47	171
ゴムリング	2.2±1.82	157

【結果】

観血法とゴムリング法ともに利用が可能。



写真3 装着後一週間



写真4 陰囊の切除



写真5 装着器とゴムリング